

## レジャー目的で訪れたい観光地、日本は 2 位にランクイン インバウンド消費拡大に向け、37%がカード受入促進により消費額増加と回答

ビザ・ワールドワイド(以下 Visa、代表取締役:ジェームス・ディクソン、所在地:東京都千代田区)は、2004 年より実施している、海外旅行の動向と旅行行動をグローバルに調査・分析した、「Visa Global Travel Intentions Survey 2015(2015 年 Visa 世界旅行意識調査)」を発表しました。

今回の調査では、過去 2 年間ににおけるレジャー目的で訪れたい観光地のトップ 10 に、日本が入っていることがわかりました。日本は、前回調査の 8 位から 6 ポイント上がり、アメリカ合衆国に次いで 2 位にランクインしました(図 1 参照)、今後 1 年間に最も訪れる可能性の高い渡航先でも前回調査より 2 ポイント上がり、2 位にランクインしました(図 2 参照)。さらに、旅行者の約 4 人に 1 人が今後 1 年以内に日本をまた訪れたいと回答したことがわかりました。

2013 年の調査と比較した結果、日本を訪れる旅行者の滞在日数が長くなっていることが判明しました。また、旅行目的に関して、日本への旅行には、文化経験を求めている比率が他国への旅行に比べ高く(図 3 参照)、旅行者の 77%が、興味深い体験に対して、当初の予算を超えて支払うことを気にしないと回答していました(図 4 参照)。支払いに関しては、世代問わず、前回の旅行に比べ、次回の旅行で消費する予定の金額が高く(図 5 参照)、また、2013 年は、現金を用意する人が多かったのに比べ、2015 年は支払い方法としてカードを用意する率が 16 ポイント増加の 94%と旅行者の多くがカードを持参するという結果が出ています(図 6 参照)。さらに、次回日本へ観光旅行をする際、消費金額の前回比 28%増加が見込まれ、(図 7 参照)、37%の人はカード払いがもっと利用できれば消費額は増えると回答していることから(図 8 参照)、カード払いの受け入れ環境を整備していくことで消費行動を促し、訪日外国人観光客によるインバウンド消費を最大化できると考えます。

【図 1: 過去 2 年以内に訪れた渡航先】

Q: 過去 2 年以内で、あなたが観光目的で訪れた渡航先を選択肢よりお選びください。

国名	2015	2013
アメリカ合衆国	18%	17%
日本	15%	9%
香港	12%	10%
シンガポール	12%	10%
フランス	12%	12%
イギリス	12%	12%
オーストラリア	12%	9%
中国	11%	10%
タイ	11%	10%
ドイツ	10%	8%

n=2015 (10,309)、2013 (10,006)  
過去 2 年以内に海外旅行をした人

【図 2: 今後 1 年以内に訪れる可能性のある渡航先】

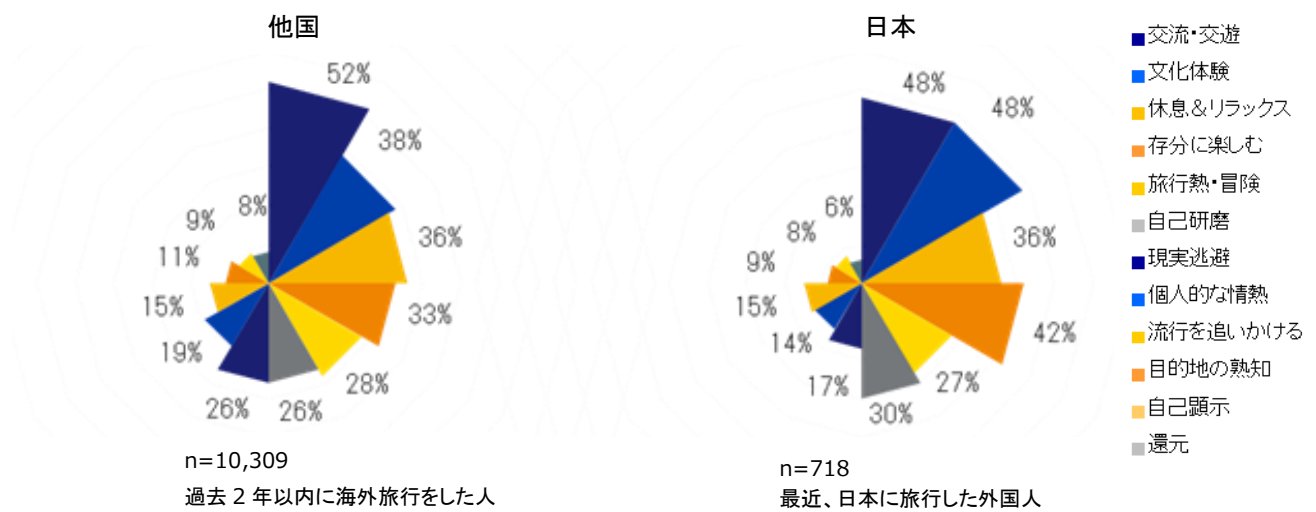
Q: 今後 1 年以内にあなたが旅行をする可能性が最も高い目的地はありますか？

国名	2015	2013
アメリカ合衆国	8%	10%
日本	7%	5%
オーストラリア	6%	4%
イギリス	5%	5%
フランス	4%	4%
香港	3%	2%
韓国	3%	3%
タイ	3%	4%
イタリア	3%	3%
スペイン、エジプト、トルコ、カナダ	3%	

n=2015 (12,105)、2013 (11,715)  
今後 1 年以内に海外旅行をする予定の人

【図 3: 旅行をする際の動機】

Q: あなたが最近旅行をする上で、そこを訪れる際に重要視している 3 点は何ですか？



【図 4: 海外旅行における予算】

Q: 海外旅行において予算をどのように組み立てますか？

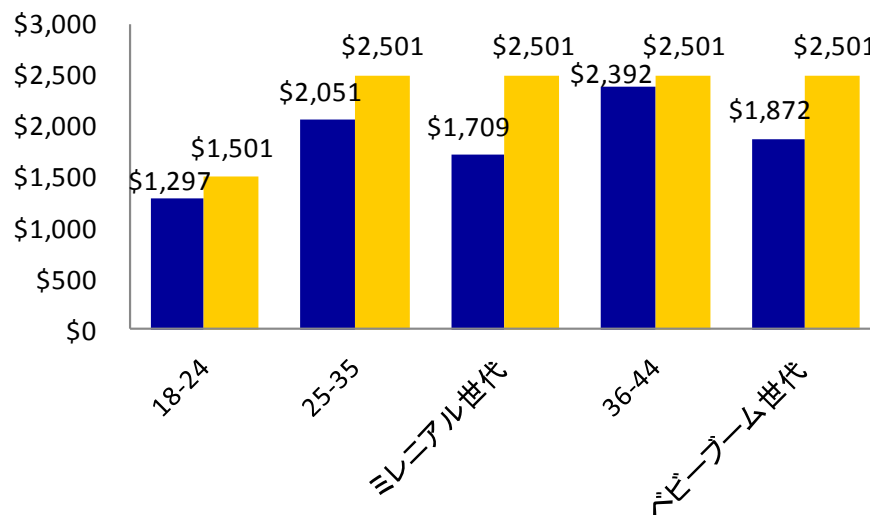
興味深い体験に対して、  
当初の予算を超えて支払う  
ことを厭わない



計画した予算を厳密に  
維持する

【図 5: 海外旅行全体の総支出】

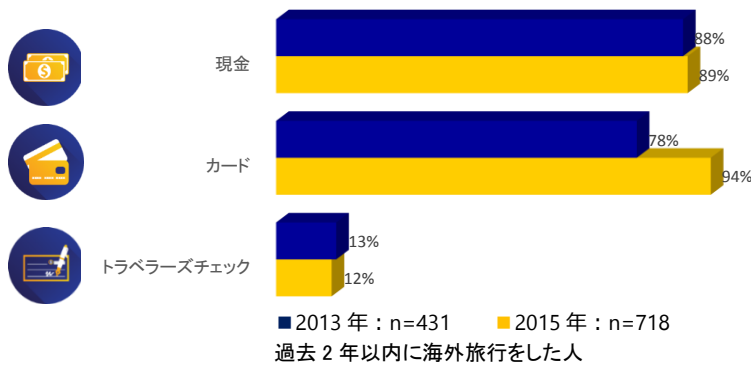
Q: あなたは旅行全体でどれくらいお金を使いますか(予約だけでなく渡航先で支払う金額も含まれます)？



■ 2013年 : n=18-24 (84)、25-35 (281)、ミレニアル世代 (365)、36-44 (197)、ベビーブーム (156)  
最近、日本に旅行した外国人  
■ 2015年 : n=18-24 (151)、25-35 (320)、ミレニアル世代 (471)、36-44 (222)、ベビーブーム (182)  
来年、日本に旅行する予定の外国人

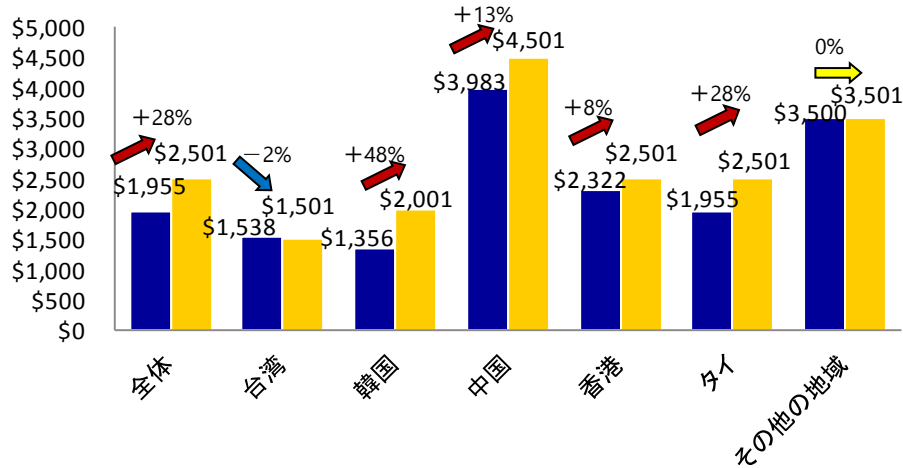
【図 6: 渡航先での支払い方法】

Q: あなたが日本に旅行をした際、現地の支払いに持っていったものをお選びください。



【図 7: 支出額の推移】

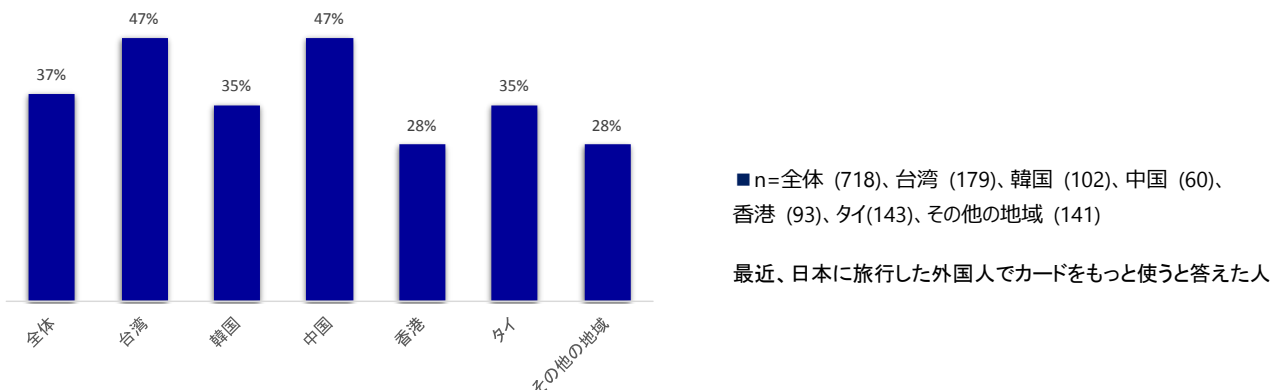
Q: 日本を以前旅行した際に、全体でどれくらい出費をしましたか？  
また、次に日本を旅行するなら、どれくらい使おうと思いますか？



■ 2013年：n=全体 (718)、台湾 (179)、韓国 (102)、中国 (60)、香港 (93)、タイ(143)、その他の地域 (141)  
最近、日本に旅行した外国人  
■ 2015年：n=全体 (875)、台湾 (199)、韓国 (54)、中国 (74)、香港 (122)、タイ(149)、その他の地域 (277)  
来年、日本に旅行する予定の外国人

【図 8: カード受け入れの頻度・場所の増加による、さらなるカードの使用意向】

Q: 日本へ観光に訪れた際、もっと頻繁にカードの支払いができる店舗があれば、どんな手段を選びましたか？



## 【調査概要】

調査名 : Visa Global Travel Intentions Study 2015

実査期間 : 2015年1月～2月

調査方法 : インターネット調査(エジプト、クウェート、モロッコ、サウジアラビアは訪問面接調査)

調査地域 : アフリカ・中東:エジプト、クウェート、モロッコ、サウジアラビア、南アフリカ、アラブ首長国連邦  
アメリカ:ブラジル、カナダ、メキシコ、アメリカ合衆国  
アジア太平洋:オーストラリア、中国、香港、インド、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、シンガポール、台湾、タイ  
ヨーロッパ:フランス、ドイツ、ロシア、イギリス

調査対象 : 24ヶ月以内に海外旅行をしたことがあるまたは今後24ヶ月以内に海外旅行に行く予定がある18歳以上の男女13,603名

※ 次の条件に該当する回答者に対して調査を実施

①過去2年以内に日本に旅行をした727名

②今後2年間で日本に旅行する予定の875名

###

## ビザ・ワールドワイドについて

ビザ・ワールドワイド(以下、Visa)は、世界規模のペイメントテクノロジーを提供する企業です。世界の200以上の国と地域において、迅速、安全かつ信頼のおける電子決済で消費者、企業、金融機関、政府機関を結ぶ役割を果たしています。毎秒56,000件を越す取引を処理できるVisaNetは世界でも最先端の情報処理ネットワークで、電子通貨の基盤であると同時に、消費者を詐欺や不正行為から守り、加盟店への確実な支払いを可能にしています。Visaの事業の特色として、カード発行、融資、会費や利息の設定を消費者に直接行わないことが挙げられます。Visaは取引先金融機関を通じて、デビットカードによる即時決済、プリペイドカードによる事前決済、クレジットカードによる事後決済といった多彩な選択肢を提供しています。詳しくは [www.corporate.visa.com](http://www.corporate.visa.com) (英語サイト) または [www.visa.co.jp](http://www.visa.co.jp) (日本語サイト) をご覧ください。